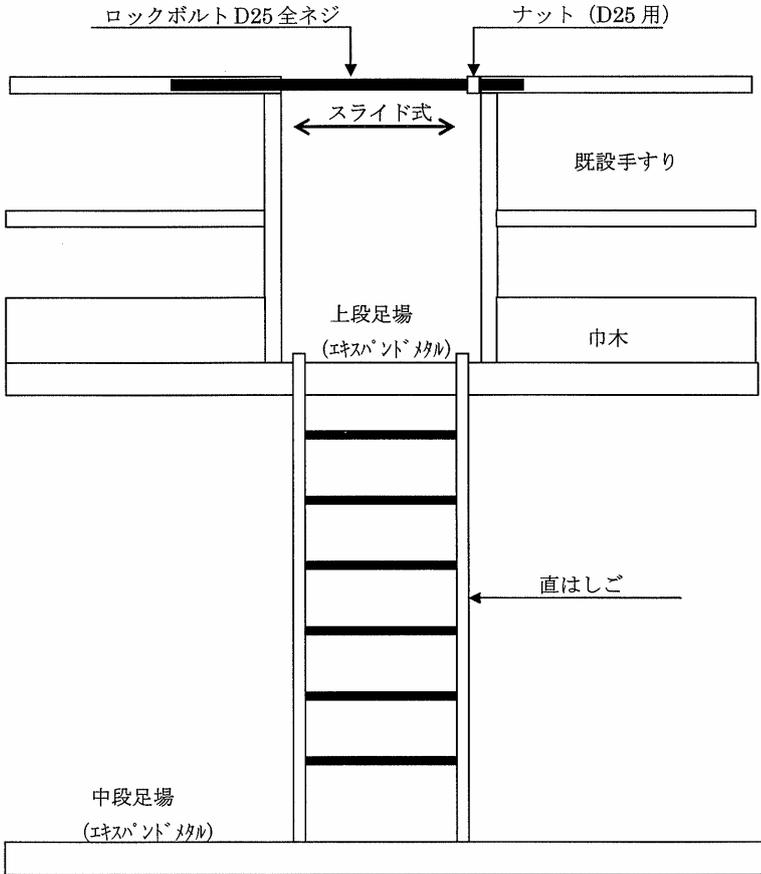


No.・区分	10202 ハード部門（土木）
タイトル	トンネル覆工用セントル妻部上部足場からの転落防止
動機・改善前の状況	鉄道用セントル妻部の中段足場は、トンネルS L付近にあり、インバートコンクリートから約 3.30mの高さにある。さらに上段足場までは垂直はしごで約 2.0m上らなければならない。この上部足場は進行方向に約 1.0m幅で設置され、横断方向に伸び妻枠の取付け、解体、コンクリートの打設及び、最終確認を行なうためのもので、垂直はしご直上部分は足場の手すりが無い状態にあるため、この部分からの転落が予想される場所でもあった。
改善・実施事項	足場に備付けの手すりは外径約 35mm の鋼管で、単管クランプ等と合致しない寸法であるため、D 2 5 全ネジボルト（ロックボルト）を手すり鋼管の中に挿入し、引き出し式の手すりとした。 脱落防止には専用ナットを取付け、約 10cm 程を引っかかり長さとした。ロックボルトはスクラップ片を約 1.0m に切断し再利用した。
改善効果	クランプ等を使用しないため、作業中に物が引っかかるような状況にはならなかった。ボルトの出し入れもスムーズにでき、また、長さにも余裕を持たせたため、引き出す際の脱落も無く、転落防止に効果があった。
活動内容 改善事項の図、 写真	（ノンスケール） 
事例提供先	日本国土開発(株)